

グループ名	ユニット名等	科 目 名	担当教員名	対象学年次	学期
ビジネス	2単位 理論経済	マクロ経済学基礎	松田 慎一	1年次	秋

授業のキーワード	国民所得、総需要と総供給、政府の役割
授業の概要・目的 及び修得させる知識・技能	マクロ経済学は、一国の経済全体がどのように活動しているのか、説明する学問です。授業目標は、国民所得、総需要と総供給、政府の役割について理解できるようにすることです。本講義は、マクロ経済学の前半部分である乗数定理まで説明する予定です。
履修のアドバイス・ 前提科目等	日本経済論（1年次春学期の基礎科目）を履修済みで、その基本的な内容について理解があることが必要です。

授 業 展 開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第1講	イントロダクション	授業概要の説明と、マクロ経済学とはどのような学問であるのかについて解説します。	第9講	国民所得の決定理論（1）	マクロ経済を分析する基本的な分析手法について説明をする。
第2講	国民所得の概念（1）	国民所得に関する概念を説明する。	第10講	国民所得の決定理論（2）	第9講の続きです。
第3講	国民所得の概念（2）	第2講の続きです。	第11講	国民所得の決定理論（3）	国民所得の決定と政府の役割について説明をする。
第4講	物価とは、名目と実質の違い	名目と実質の違いについて説明する。	第12講	インフレギャップとデフレギャップ	インフレギャップとデフレギャップについて説明をする。
第5講	消費の理論	ケインズの消費の理論について説明する。	第13講	インフレギャップとデフレギャップ	ギャップの計算方法について説明をする。
第6講	貯蓄の理論	消費と貯蓄の関係および貯蓄の決定について説明する。	第14講	まとめ	この授業で解説した内容の総括を行います。
第7講	租税とは	租税が消費や貯蓄に与える影響について説明する。	第15講	期末試験	
第8講	マクロ経済における需要と供給	マクロ経済における総需要と総供給について説明する。		評 価 方 法	出席・課題・期末試験の総合点数をもとに評価します。
	備 考 (関連する資格・試験等)				
	使用する教科書（必ず購入してください）			参 考 文 献	
					伊藤元重『マクロ経済学』日本経済評論社 中谷巖『マクロ経済学入門』日経文庫 スティグリッツ/ウォルシュ『入門経済学』第3版、東洋経済新報社